

## 環境負荷低減に配慮した製品づくりと事業活動を推進します

地球環境の保全は人類共通の課題であることを認識し、特に製品仕様にアウトプットされる環境配慮の取組みを中心に、あらゆる企業活動の側面で継続的に、環境保全活動を行うべきであると考えています。

### 環境・エネルギー基本方針

EIZOグループは、環境に調和した企業活動が重要な経営課題の一つであると認識し、常に環境への影響に配慮し、資源の有効利用、気候変動緩和への取組み、生物多様性及び生態系の保護を含む環境保全、汚染予防、環境リスクの低減に努め、社会の持続可能な発展に貢献します。

- 1 環境保全及びエネルギーの有効活用に関する法令・規則及びその他の要求事項を遵守する。
- 2 環境に配慮した製品・サービスを提供し、環境負荷の低減を推進し、汚染予防に努める。
- 3 企業活動において、持続可能な資源の利用、汚染防止、グリーン購入、エネルギー利用の高効率化、温室効果ガス排出の抑制に取り組む。
- 4 企業活動と調和した環境・エネルギーマネジメントシステムを構築し、目標を設定、実行、評価し、継続的な改善を行う。
- 5 環境保全と持続可能でクリーンなエネルギー利用の意識及び活動の向上のために、社員に対する啓発活動を推進する。

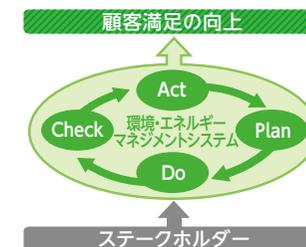
### 環境・エネルギーマネジメントシステム

当社は1998年7月にISO14001の認証を取得し、環境・エネルギー基本方針に基づく環境・エネルギーマネジメントシステムを運用しています\*。廃棄物削減や資源・エネルギーの消費低減に対する取組みはもとより、社会の環境配慮製品志向・エコ製品への関心の高まりを踏まえ、製品への環境配慮を中心に据えた環境目標に重点を置き、環境・エネルギーマネジメントシステムを運用しています。

\*現在はEIZOエムエス株式会社、EIZO GmbH、EIZO Technologies GmbH、艺卓显像技术(苏州)有限公司でも取得

#### 環境・エネルギーマネジメントシステム活動状況

事業活動における環境保全のパフォーマンスを向上させるためには、事業活動と環境保全の活動とが一体化していることが望まれます。このため、当社はISO14001:2015の改訂にも即し、環境・エネルギーマネジメントシステム担当役員の指揮・管理のもと、経営トップの経営課題方針および事業戦略に結びついた環境保全への取組みを行っています。また、これらの活動を推進するために、企業活動については、総務部安全管理課が主管となり、施設・設備のエネルギー、化学物質、廃棄物などに関する管理を行い、また、製品に関しては技術管理部認証規格課が主管となり、世界各国の環境情報を収集しながら環境適合性製品の開発を推進しています。



#### 環境・エネルギーマネジメントシステム監査

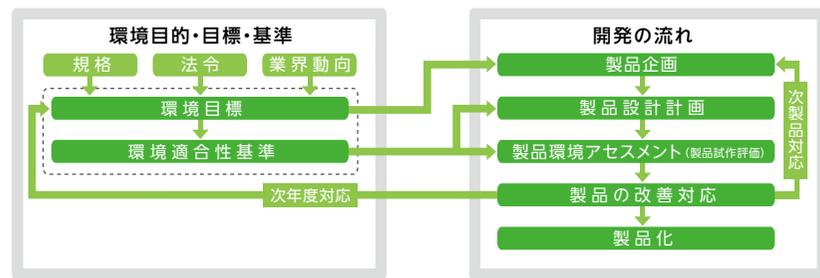
第三者認証機関による外部監査も実施し、2018年度もISO14001の認証を維持しています。昨今は、化学物質管理に対するマネジメント監査の意識が強化されており、これに特化した社内での内部監査、顧客との監査も実施しています。

## 製品開発の基本フロー

当社の製品開発においては、各種法令・規制への対応をはじめとして、国内外の規格や業界動向、社会情勢を考慮のうえ、高いレベルでの製品環境への配慮を目指し、当社独自で定めた「環境適合性基準」に基づいた、製品環境アセスメント（環境配慮の度合いの評価）を実施しています。

「環境適合性基準」は、年度ごとの環境目標の立案・実施・達成と相互に関連させ毎年改定を行い、製品における環境配慮のレベルアップを図っています。また、化学物質規制に対応するために、「グリーン調達基準」に基づき、サプライチェーンにおける化学物質の調査・管理を実施しています。

### ▶ 製品開発の基本フロー



## グリーン調達

### EIZOのグリーン調達の考え方

地球環境保全のため環境・エネルギー基本方針に基づいた事業活動を行い、循環型経済社会の構築を目指し、環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。

環境保全活動の維持・向上を図り社会・顧客の要望に応えるため、また、世界各国で目まぐるしく変化する環境法規制・規格に迅速に対応し、社会的責任を果たすために、資材調達活動の指針として「EIZOグリーン調達基準」を作成しています。

品質、価格、納期、サービス、技術力などのみならず、環境負荷低減および環境保全活動に積極的な取引先との取引を優先し、また、必要な品質、機能、経済的合理性に加え、環境に配慮された製品、部品、材料（梱包仕様含む）を優先的に採用します。これにより、当社事業活動に伴う環境負荷の低減を図るとともに、環境に配慮した製品の市場拡大に貢献します。

## 化学物質含有情報管理

世界的な環境配慮志向の高まりの中、当社製品について、国内外の環境規格取得およびグリーン調達を目的とした主体的な化学物質調査に取り組んでいます。グリーン調達を推進していくために、取引先の環境への取組みの確認、および取引先から調達する部品の化学物質調査を行っています。調査結果はデータベースで蓄積・管理し、採用する資材および取引先としての適正性を判断するとともに、当社製品の環境適合性の判断に活用しています。

### ▶ 化学物質含有調査の流れ



## 環境規格への適合・法令対応

環境配慮製品の開発を推進しており、国内外の各種法令遵守はもちろんのこと、主要な製品に対しては各市場の主要な環境規格への適合も果たしています。

欧州にはWEEE指令（製品回収リサイクル）、RoHS指令（特定有害物質の含有禁止）、REACH規則（化学物質の登録、評価、認可、制限に関する規則）、ErP指令（エネルギー関連製品のエコデザイン）などの法令が施行されています。これらの規制は欧州を起点として類似の規制が世界中に拡大する場合も多く、重要なものとなっています。当社製品はこれらの規制に適合しています。

また、TCO Certified Generation 8（モニターの国際総合規格）、EPEAT（PC/モニターの国際環境規格）、ENERGY STAR 7.1（米国発の省エネルギー規格）、PCグリーンラベル（日本のPC/モニターの環境規格）などの環境ラベリングに対応しています。さらに、TCO、ENERGY STAR、PCグリーンラベルについては規格策定にも参画しています。

今後とも環境ラベリングの動向を注視しつつ、より環境負荷の少ない製品開発を目指していきます。



### 事業活動における環境負荷の全体像

(算出範囲：下記6エリア)



#### ▶ エリア別環境負荷

エリア	EIZO株式会社 本社エリア	EIZOエムエス株式会社		EIZO GmbH (ドイツ)	EIZO Technologies GmbH (ドイツ)	合計		
		羽咋工場	七尾工場					
事業内容	モニター開発・生産(組立)ほか	基板生産	モニター組立	モニター開発・生産(組立)ほか	モニター開発・生産(組立)ほか			
総エネルギー投入量(GJ)	55,490	31,901	7,784	1,935	1,377	101,533		
エネルギー資源	電力(万kWh)	495.9	320.0	78.1	19.4	13.6	957.5	
	灯油(KL)	14.2	-	-	-	-	14.2	
	LPG(t)	125.5	-	-	-	-	125.5	
	圧縮空気(万m³)	-	-	-	-	2.3	2.3	
	コピー用紙(kg)	4,169	956	210	347	1,770	7,452	
水資源投入量(m³)	18,559	2,486	2,968	870	-	24,883		
CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	3,049	1,837	448	122	62	136	5,654	
廃棄物	産業廃棄物(t)	227.5	45.7	94.5	-	52.1	19.2	439.0
	一般廃棄物(t)	14.3	2.4	1.2	-	1.0	-	18.9
	古紙(t)	304.4	69.3	161.0	-	23.0	15.7	573.4
	リサイクル率(%)	98.4	96.7	99.4	-	70.0	-	94.9

### 環境リスク管理

#### 施設管理

基本方針として、法規制の適用の有無にかかわらず、自主管理基準を設定し、遵守しています。

#### 法規制

大気汚染防止法、廃棄物処理法など当社の企業活動に関係する国内法規制については改正、新規制定などの情報を入手し、当社の対応状況を定期的に監視、測定することで遵守に努めています。大気汚染物質であるNOx、SOx、ばいじんの排出量については大気汚染防止法にもとづいて定期的に計測をしていますが、法に定められる排出基準値を大きく下回っています。また、法規制が適用されるか否かに関わらず、自主管理基準を設定し、これらに違反しないよう努めています。なお、2018年度の遵守状況に問題はなく、指導、勧告、命令、処分などは受けていません。

### エネルギーの使用および温室効果ガスの排出

2018年度はEIZO株式会社本社においてクリーンルーム設備の省エネ改造をはじめとした、エネルギー使用量削減のための取組みを推進しました。

また、2019年1月よりEIZO株式会社本社において温室効果ガスの排出量が少ない電力を供給する新電力への切り替えを実施しました。今後もクリーンなエネルギーの利用拡大を進めていきます。

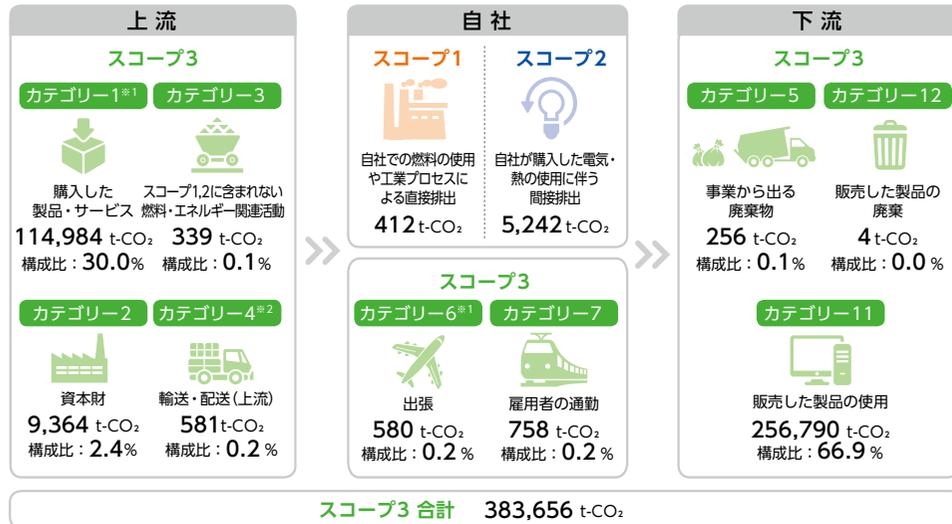
なお、2016年度より算定範囲にドイツのグループ会社に加わっており、2015年度以前のデータとの連続性はありません。

▶ CO<sub>2</sub>排出量・エネルギー投入量(日本、中国、ドイツ)



※電力量に関するCO<sub>2</sub>の排出量算出については各年度の電力会社の排出係数ならびに各国での算定方法により行っています。

温室効果ガス排出量「スコープ3」



算定範囲: EIZOグループ(右記をのぞく) ※1 EIZO本社のみ ※2 当社が荷主となる出荷のみ

水の使用

EIZO株式会社本社エリアでは地下水のみを使用しています。この地下水くみ上げによる地盤沈下や下水処理負荷への配慮のため、水資源の投入量や排水量のモニタリングを行っています。水は社屋での使用の他、冬季の融雪装置や夏季の樹木への散水に使用しています。なお、製造工程での水の使用はありません。

産業廃棄物

産業廃棄物の排出量は前年同等で多い状態が続いています。当社から排出される産業廃棄物の大部分は外部から購入しているデバイスの梱包材となっており、液晶パネルの画面サイズの大型化に伴う梱包材の大型化が要因の1つとなっています。

なお、2016年度より算定範囲にドイツのグループ会社に加わっており、2015年度以前のデータとの連続性はありません。



化学物質管理

灯油、有機溶剤など、事業活動で使用する化学物質については「消防法」「労働安全衛生法」等の関係法令に基づいて適正な管理を行っています。

使用済み製品の回収リサイクル

EIZOグループでは各国の環境にかかわる法令を遵守し、使用済み製品の回収リサイクルを実施しています。

日本

ご家庭で使用済みとなったEIZOモニター

「廃棄物処理法」および「資源有効利用促進法」に基づき、「製品回収リサイクルシステム」を構築し、2003年10月1日以降に個人のお客様が購入されたモニターに対しては、「PC リサイクルマーク」制度に則り、無償で回収リサイクルを実施しています。

家庭より排出される使用済みEIZOモニター(家庭系)回収実績(2018年度)		
	CRTモニター	液晶モニター
回収重量(kg)	10,048.8	12,460.0
回収台数(台)	407.0	1,780.0
資源再利用量(kg)	7,091.9	10,885.4
資源再利用率(%)	70.6	87.4

法人様で使用済みとなったEIZOモニター

「廃棄物処理法」および「資源有効利用促進法」に基づき、法人のお客様より排出される使用済み製品を対象に「製品回収リサイクルシステム」を構築し、使用済み製品の回収リサイクルを実施しています。

法人より排出される使用済みEIZOモニター(事業系)回収実績(2018年度)		
	CRTモニター	液晶モニター
回収重量(kg)	469.1	1,617.0
回収台数(台)	19.0	231.0
資源再利用量(kg)	344.0	1,280.4
資源再利用率(%)	73.7	79.2

欧州

欧州WEEE指令は、廃電気・電子機器の回収・リサイクルを推進し、環境負荷を減らすことを目的に法制化されたものであり、2005年8月に発効しました。欧州で販売する対象製品に対して、回収リサイクルシステムの構築を行い対応しています。

米国

EPEAT規格では廃電気・電子機器の回収サービスの提供と適正な廃棄および再生化処理の実施が求められます。米国で販売する対象製品に対して、回収リサイクルシステムの構築を行い対応しています。